



「京都のまち・観光... 私たちもひとこと！」

京都市生涯学習市民フォーラム会員の皆様からのご意見(抜粋)

事前にアンケートをお願いしたところ、76団体の皆様からご回答をいただきました

(記入された方) 男性:40名, 女性:32名, 不明:4名

20代以下:5名, 30代:8名, 40代:15名, 50代:24名, 60代以上:20名, 不明:4名

「(多数)」: 同種の意見を多数いただいたものです。

Q

観光(客)と関わる活動をしていますか?
その活動を通して感じていることは?

A

<活動> 観光客や修学旅行生に体験講座を提供している。(多数)

観光で来られた際に生涯学習講座を受講される方がいる。京都をより楽しむために学習されている。

体験や教育活動で当団体を選ばれる動機の一つとして、京都にあるという点があるように感じる。もっと、「京都」を生かした教育体験活動をできたらと思う。

国際交流として京都を案内することがあるが、人と人との結びつきが大事だと感じる。

外国人観光客の対応や一般家庭訪問事業を実施。京都で市民との交流を希望される外国人が多い。

運営する施設の見学に来られる。京都の魅力を伝えるお手伝いできていることに誇りを感じる。

京都に在住している人のほうが、身近にある京都の優れた資源に気づいていない。(多数)

Q

京都で活動することの利点・欠点は?

A

利点

世界に誇るコンテンツが豊富に存在、多種多様な生涯学習の教材に満ちている。(多数)

多くの歴史ある文化・観光資源を活用した事業が展開できる。(多数)

「京都」は日本におけるトップクラスのブランド。ネームバリューが高い。(多数)

観光と絡めた活動ができ集客率が高い。(多数)

他府県から訪れる関係団体等が多く、親交を深めることができる。

文化芸術団体が多く、その活動が日常的に行われている。

町内会などの住民組織が主体となって様々な活動に取り組んでいることに地域の力を感じる。

地域の自治会等と連携し、きめ細かな活動ができる。

「大学のまち」であり、多くの学生がイベントに参加してくれる。

欠点

類似の学術・文化に関する講座等が多数実施されていて、集客に苦勞する。

当然のことながら、景観等、様々な規制が厳しい。

PR力の強いメディアが少ない。

京都市内南部・西部の交通の便が悪い。

活動場所が確保しにくい。

(使用料が高い、施設の予約がとりにくい等)

たくさんの意見ありがとう!
京都のまちって、いろんな魅力があるんだね。



生涯学習マスコット マナビイ

[以下の質問はご記入いただいた方個人のご意見を伺ったものです。]

Q

「観光都市・京都」の良い点・残念な点は？

A

良い点

歴史ある寺社仏閣が多く残されている。あらゆる場所、シーンで歴史の重みを感じることができる。
(多数)

市街地の中心部を清流が流れ、市街地を囲む山々の景色が優れている。

観光客が多く訪れることでまちに賑わいが出て、活気が生まれ、経済効果や産業振興につながる。(多数)

多くの国や地方の方と接する機会がある。

観光案内や地図がわかりやすく設置されている。

災害時等の観光客への対応に取り組んでいる行政区が多い。

市民の一人ひとりがおもてなしの心をもって観光客に接している。

残念な点

観光シーズンの人・道路の混雑がひどい。乗用車の市内乗り入れの規制が必要。(多数)

観光地付近に駐輪場が少ない。

バリアフリーが進んでいない。(特にトイレ。洋式がない、階段を使わないと利用できない等)

交通費が高いと観光客の行動力が鈍る。公共交通機関の運賃を下げることが、ひいては経済活性化につながるのでは。

寺社仏閣の拝観料が高い。(多数)

名所旧跡に頼りすぎている。

本質的な京都の魅力をもっと発信すべき。

常に観光客が来るというおごりから、顧客のニーズを考えない店。店が閉まるのが早すぎる。

観光のために保全されている地域とそうでない地域とのアンバランスさが目立つ。

駐輪と電柱がまちの景観を損ねている。

観光に配慮した街並みを形成することが必要。

京都をもっと好きになってもらうためには...



Q

あなたが考える「京都のまちの魅力」とは？

A

様々な時代の歴史の痕跡が至る所に残されていて、時間旅行のできるまち(多数)

三山に見られる自然景観、四季折々の美しさ、伝統的な建築物(多数)

受け継がれ、今も息づく伝統(食文化、伝統産業の技など)(多数)

文化芸術の面で本物を探究できる。

古くからの伝統を守る心と新しい挑戦を受け入れる懐の深さ、柔軟性(多数)

適当な間合いで新旧色々なものが混在している。

毎朝、門掃きされている市民の姿

おもてなしや文化に対する市民の高い意識(多数)

わざとらしくない気品

Q

実践している「おもてなし」は？

A

道を尋ねられた時は、笑顔で丁寧に対応し、困っている人を見かけたら声をかける。(多数)

道案内では「上ル」「下ル」など京都独特の言い回しで伝えるなど、京言葉を意識して話す。

外国人に道を尋ねられたときに、英語など外国語で答えられるようにしたい。(多数)

京都についての知識を増やし、誇りと自信をもって案内できるようにしたい。

職場で門掃きを実施。(多数)

サンフランシスコでは夜景を楽しんでもらうため、全ての企業や家の灯りを白色に統一していると聞く。まち全体の雰囲気を整えることもおもてなしだと思う。

A

その他

京都出身というだけで、どこことなく誇らしげな気持ちになる。

子どもたちへ京都の歴史や文化を教える必要がある。

教えてもらうばかりでなく、自分で探す。自分で行動して人と出会う。体験する。それも観光かなと思う。

一見すると柔らかなやさしさがあるが、京都人の自尊心の高さが気になる。これをどうにかしたい。

京都人は冷たいと見られがちだが、京都人の温かい心を知ってもらうことが必要。

ジュニア京都観光大使のみなさんからひとつ！



ジュニア京都観光大使とは？

子ども版の京都検定である「ジュニア京都検定」で「名人」に認定された者のうちから選ばれ、平成24年度は、小学6年生と中学1年生のあわせて8名の子どもたちが京都の魅力をPRするために、イベントのお手伝いや体験取材など、様々な活動を行っています。

Q

「観光都市・京都」のよいところ・残念なところは？

A

よいところ

有形・無形の文化財が数多く残っているところ

「昔、ここを秀吉が歩いたかも…」などと歴史を身近に感じられるところ

歴史の深さ、伝統文化、世界遺産、食べ物がおいしいなど感動がたくさんある。

他都市では味わえない京都ならではの祭りがあるところ

昔からのまち並みや風景などを崩さずにまちづくりをしているところ

観光客の方々に身近に感じて、歓迎するところ

残念なところ

道路が混雑するので、観光地を回りきれない。

人が多く、観たいものがじっくり見られない。

道端にタバコの吸い殻などが落ちていて、せっかくの美しい景観が台無しになってしまっている。

京都の良さが若い人に伝わっていない。知ろうとする人が少ない。

Q

観光客の皆さんを温かくもてなすために、ふだんやっていることや今後やってみたい「おもてなし」は？

A

観光客に道を聞かれたら、できるだけ丁寧に答えあげたい。

気持ちよく観光してもらうために道端に落ちているゴミを拾う。

道端にゴミがあると、京都ならではの美しい風景が台無しになってしまうので、ゴミ拾いのボランティアに参加してみたい。

伝統産業体験ができる場所を紹介して、一緒に体験したい。

まずは京都に住む人たちに京都のよさを伝え、それから他のまちに発信していきたい。

私自身も京都のことに詳しくなれるように頑張りたい。

笑顔で道案内すること、まちの美化を心掛けているという意見はみんな同じだね！

